

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
こども教育学部	講師	茂見 剛	修士(教育学)

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 1. プロセスレコードを活用したふりかえりの場の設定  2. 教職科目におけるコマシラバスの活用	令和4年4月～  令和4年4月～	福岡こども短期大学の教育実習(養護)の事後指導において、プロセスレコードを活用したリフレクションの場を設定した。具体的には、作成したプロセスレコードとレポートを互いに読み合いながら、それぞれの気づきを共有する時間を設けた。学生からも、様々な気づきを得ることができたと評価された。  福岡こども短期大学の教職科目の授業で、当該授業の目的やねらい、授業の流れを記載した、1コマ単位のコマシラバスを作成し、学生に配布していた。これは、自身が受けている授業のねらいや位置づけを学生が知ることで、学習意欲を引き出すというねらいとともに、授業の構造を体験的に学ぶ機会を設けるという意図を持って作成した。
(2)作成した教科書・教材・参考書 1. 幼稚園教職課程を対象とした「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)」のテキスト『幼児教育・保育のための教育方法論』作成	令和3年3月	教職課程の必修科目「教育の方法及び技術」のためのテキスト(垂見直樹・池田竜介編著)において、第4章「子どもの育ちと物的環境」(pp.33-43)を執筆した。
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
(4)その他教育活動上特記すべき事項		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
『幼児教育・保育のための教育方法論』、第4章「子どもの育ちと物的環境」	共著	令和3年3月	ミネルヴァ書房	垂見直樹、池田竜介、船原将太、大間敏行、茂見剛、宮本聡、鶴田百々、福田紗耶香、片桐真弓、金子研太	pp.33-43
(論文)					
教育学ボランティア演習の授業改善に向けた提案ー活動学生への半構造化インタビューを通してー	共著	平28年6月	九州教育経営学会、『九州教育経営学会紀要』第22号、pp.95-103	茂見剛・清水良彦	pp.97-101
SCATを用いた授業分析に関する一考察ー小学校六年社会科の授業を対象にー	単著	平成28年8月	九州教育学会『九州教育学会研究紀要』第43巻、pp.49-56		pp.49-56

「学び」を軸とした授業研究の批判的検討	単著	平成30年8月	九州教育学会、『九州教育学会研究紀要』第45巻、pp.141-148		pp.141-148
学校カリキュラムにおける「総合的な学習の時間」の役割の再検討: 社会システム理論およびデューイの教育論を手掛かりに	共著	令和4年3月	『九州大学教職課程研究紀要』第6号、pp.23-38	茂見剛・鈴木篤・田上哲	pp.22-38
架け橋期のカリキュラム・デザインにおける実践者の判断を支えるフレームの提案に向けた試論: Guided Play、PBL、遊びとしての運動指導を手がかりに	共著	令和6年3月	『福岡こども短期大学研究紀要』第35巻、pp.17-28	茂見剛・木下祥一・片岡佑衣	pp.17-20、26-27

### Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

平成27年9月～	九州教育学会 会員
平成28年5月～	日本教育方法学会 会員
令和2年8月～	日本教育学会 会員